

十三小だより



協力し合い、心に残る運動会に！

10月2日(日)は運動会です。子どもたちはこの日を目指し、一生懸命練習を積み重ねてきました。当日は、練習の成果を見事発揮し、どの学年も素晴らしい演技・競技を行うことと思います。また、高学年は、児童会や応援団、放送係や出発係・準備係など各係を担当し、運動会を成功させるために、みんなで力を合わせて協力しあい、がんばっています。運動会が大成功いたしますよう、ご家庭・地域の皆様の温かいご声援・ご協力よろしく願いいたします。

10月は、なかよし遠足や修学旅行など、多くの行事があります。さまざまな経験を通して、成長してほしいと願っています。

今月の主な予定

月	日	曜	行 事	備 考
	1 日	土	土曜授業 運動会前日準備	1～3年生は10時30分ごろ。4～6年生は12時ごろ下校します。
			学校説明会	新1年生の保護者の方を対象に10時から10時30分まで行います。
	2 日	日	運動会	9:10 開会 14:30 閉会予定です。(雨天時は4日に延期します。)
	3 日	月	代休	運動会開催の有無に関わらず、休みとなります。
	4 日～7 日		きら・ピカウイーク	給食後の菌みがきがしっかりできるようにします。
	5 日	水	歯科検診	13:30 より全学年行います。
			学力テスト個票返却	6年生の全国学力・学習状況調査の個人別成績表を返却します。
	6 日	木	委員会活動	6時間目におこないます。
	7 日	金	なかよし班活動	なかよし遠足に向けた活動です。
	1 1 日	火	交通安全指導	2時間目、なかよし班で校区を歩きます。
	1 3 日	木	修学旅行前検診	6年生対象に、修学旅行前の健康診断を行います。
			クラブ	4～6年生が各クラブに分かれ活動します。
	1 4 日	金	なかよし遠足	服部緑地へ出かけます。雨天時は28日(金)に延期します。
	17～21 日		あいさつ強調週間	朝のあいさつ運動に取り組みます。
	1 8 日	火	1, 5 年栄養指導	区内の栄養教諭・栄養職員の方による授業があります。
	1 9 日	水	1日学校公開・説明会・学級おしゃべり会	1～5限目の授業を公開します。終了後、学級おしゃべり会を行います。
	2 0 日	木	就学時健康診断	全学年 13:30 下校。健康委員会は 15:00 ごろ下校。
	25・26 日	火・水	修学旅行	6年生が、鳥羽・賢島方面へ出かけます。
	2 7 日	木	クラブ	4～6年生が各クラブに分かれ活動します。
	2 9 日	土	防災学習デー	地震・津波を想定した訓練と、保護者への引き渡し訓練を行います。
	3 1 日	月	5, 6 年美しい日本語講座	劇団四季の方から美しい日本語の発声の仕方などを学びます。

運動会の練習、がんばっています！

運動会本番に向け、がんばって練習しています。雨が多い中でも、工夫して練習しました。運動会当日、子どもたちの元気いっぱい・力いっぱいの演技・競技をぜひご覧ください。



1・2年くるくるエイヤー！ころころパン！Yeah!!

3・4年 ヨシヤ来い！よさこい

5・6年 集団演舞 ～一致団結～

十三 五か条の心得

10月は「あいさつ・返事をしっかりしよう」を中心に取り組んでいきます。

- 一．あいさつ・返事をしっかりしよう
- 一．しっかり勉強しよう
- 一．友達と仲良くしよう
- 一．きまりを守ろう
- 一．健康に過ごそう

「聞くと効く」

校長 前田 耕一

本校の児童の特徴として、話をするのが好きな子が多く、話を聞かなければいけない時にも周りの人とお話をしている人がけっこういるので、聞く態度をしっかりと身につけさせなければと、全校をあげて取り組んできています。9月の新聞記事に、聞くことに関して気になるものが二つありましたので、その要点を紹介します。

一つ目は、「当たり前だから信頼」という題のコラムの最後の部分で、こうまとめられています。

以前、出会った医師にすごい人がいた。最初にまず、こちらの話を聞いてくれた。今どうなのか？ 何が不安なのか？ それは全部ノートにメモされ、一つ一つ説明してくれた。傾聴。ものの15分。それで、ボクはこの医師には絶大の信頼を置くことになった。当たりの話なのだが、当たり前ではない。

この話は、病人の立場で書かれており、「病人というものは、どうも弱い。医師から病気の説明をされるとき、怒られた幼児のような気持ちになってしまう。『だって、こうなんだもん』となかなか言い出せず、黙って話を聞く」という文章が始めに書かれています。このような人が、最初にまず聴いてくれる医師に出会って、すごい人だと思ったのは分かるような気がします。

二つ目は、「保健室に通うやっかいな子」という悩みの相談で、次のように回答されています。

大事なのは「話せばわかる」ことではなく、「聴いてあげる」こと。子どもはオトナに「聴かれて」いません。……強者の側から見た相互理解って、一方通行のことが多いものです。……「どうしたの？」「どうしたいの？」とじっくり聴いてあげてください。

悩みの相談者が中学校の教師なので、『やっかいな生徒』ほどよく燃えるのが、プロフェッショナルな教育者というもの……「手のかからない『普通の子』より、きっとやりがいを感じるでしょう」と回答者から喝を入れられる形でまとめられています。

これらの二つの記事から、聞くことの大切さ、聞くことの効果がよく分かります。まさに、聞くことは効くのですね。

聞くことについて、子どもたちにはこれからも継続して指導していきますが、我々大人もしっかりと聞いて、誤解しないように正しく理解し、機微に触れることで、信頼されるように心がけたいものです。

季節は、秋。そろそろ菊の開花時期を迎えます。